

なかがわ 議会だより

No **114**

2015.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



9月27日 中川中学校 第67回学校祭

主な 内容

- 第5回 臨時会
- 第3回 定例会〔一般質問 5氏〕
- 議会広報研修会
- 議会日誌
- 編集後記

第五回臨時会

平成27年8月5日招集

平成27年第五回臨時会は8月5日招集され、会期を1日と決し、議案2件を決議し閉会しました。

議案審議結果

【契約】

▼工事請負契約の締結について（平成27年度佐久地区公民館耐震補強及び大規模改修（建築主体）工事）

【原案可決】

■契約方法：指名競争入札
■契約の金額：7862万4千円



佐久地区公民館

■相手方：旭川市3条通19丁目右10号
高組・中川建協経常建設共同企業体 株式会社 高組
代表取締役 高 秀宣

【予算】

▼平成27年度中川町一般会計予算補正について

■歳入歳出総額にそれぞれ951万3千円を追加し、予算総額をそれぞれ37億1559万5千円とする【原案可決】
・主な補正内容は交流プラザ床改修工事、ポンピラアクアリズینگ全館カーテン改修工事、道徳教育推進校事業、大和林地埋塞土・流木撤去工事などの追加。



交流プラザ

議会広報研修会に参加して

平成27年8月19日、札幌市で開催された議会広報研修会に参加してまいりました。内容としては、グラフィックデザイナー長岡光弘氏の講演、各町村議会が実際に発行している議会広報を基に良い点、改善点を具体的に説明するものでした。

講師がグラフィックデザイナーということもあり、特に紙面の文面、写真等の配置や視線の誘導、アイドマの法則といった専門家が行っている読みやすい紙面レイアウトを意識したものでした。

また、今回例として挙げられている各広報も、それぞれ個性と情熱を感じられるものばかりでした。

今回の研修を受け、改めて町民の皆様が手に取って見やすい、読みやすい、わかりやすい広報とは何か再考する機会となりました。

新人議員2名の広報特別委員会ですが、議会がどんな活動をし、どんな議論をしているのか伝える、伝えるをモットーに広報を作成したいと思います。



◆第3回定例会◆

平成27年第3回定例会は9月16日招集され、会期を2日と決し、5議員の一般質問、報告3件、予算5件、議案6件、認定6件、意見書1件、会議規則5件を決議し、認定6件は決算審査特別委員会に付託され、閉会しました。



第3回定例会の様子

議案審議結果

【報告事項】

▼専決処分の報告（工事請負契約の一部変更）【報告済】

■契約金額：6771万6千円を6716万5千200円に変更

35 ■相手方：中川郡中川町字誉

株式会社 中川阿部建設
代表取締役 吉田 寛

▼平成26年度中川町健全化判断比率の報告 【報告済】

早期健全化基準等に該当せず

▼平成26年度中川町資金不足比率の報告 【報告済】

経営健全化基準等に該当せず

【条例など】

▼損害賠償の和解について

【原案可決】

■賠償理由：中川町農業者トレーニングセンターにおいて発生した非常口ドアの損壊による傷害事故

▼中川町手数料条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

法改正及び番号法（マイナンバー制度）の施行による改正

▼中川町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

番号法（マイナンバー制度）の施行による改正

▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

【原案可決】

北海道町村議会議員公務災害補償等組合からの脱退、加入による変更等

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更について

【原案可決】

北海道市町村総合事務組合からの脱退、加入による変更

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

【原案可決】

北海道市町村職員退職手当組合からの脱退、加入による

変更

【予算】

▼平成27年度中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ6722万2千円を追加し、予算総額をそれぞれ37億8281万7千円とする

【原案可決】

主な補正内容は旧中川消防支署跡地外構工事費、人づくり研修事業助成金、中山間地域等直接支払交付金、森林整備加速化・林業再生総合対策事業費などの追加

▼平成27年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ164万9千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億5682万1千円とする

【原案可決】

主な補正内容は国保システム社会保障・税番号制度改修委託料、高額医療費拠出金などの追加

▼平成27年度中川町介護保険特別会計予算補正

■保険事業勘定の歳入歳出総額に、それぞれ74万7千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億1339万3千円とする

【原案可決】

主な補正内容は介護保険システム社会保障・税番号制度改修委託料などの追加

▼平成27年度中川町後期高齢者医療特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ29万円を追加し、予算総額をそれぞれ2849万3千円とする

【原案可決】

主な補正内容は後期高齢システム社会保障・税番号制度改修委託料の追加

▼平成27年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ270万円を追加し、予算総額をそれぞれ8952万円とする

【原案可決】

主な補正内容は公共桝新設工事費の追加

【認定】

▼平成26年度中川町一般会計歳入歳出決算認定

▼平成26年度中川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

▼平成26年度中川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

▼平成26年度中川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

▼平成26年度中川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

▼平成26年度中川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

■いずれも決算審査特別委員会へ付託・11月30日までに審査終了

決算審査特別委員会

委員長 鎌塚 一成
副委員長 小川 鉄吉

【意見書】

▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき衆参両院議長、内閣総理大臣及び関係各大臣に送付
※意見書は10ページに掲載

【会議規則に伴うもの】

▼中川町議会基本条例制定特別委員会設置に関する決議について

【原案可決】
中川町議会基本条例制定特別委員会

委員長 坂尻 栄治
副委員長 小川 鉄吉

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事件

1 保健・福祉・医療の連携と地域福祉についての現況と今後の展開について
・地域福祉（社会福祉協議会の充実・強化）の担い手について

2 子育て支援及び食育の現況と今後の展開について
・学校と家庭の連携と学校給食について

■期限

平成27年第4回定例会まで

【継続調査決定】



幼児センター 農業者との料理体験

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事件

1 農業振興対策の現況と今後の展開について
・農地の活用方法について
・農業振興センターの役割と課題について

2 公共施設の今後のあり方について
・ポンピラアクアリズインの今後について

■期限

平成27年第4回定例会まで

【継続調査決定】



ポンピラアクアリズイン

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

平成27年第4回定例会まで

【継続調査決定】

▼平成27年度上川北部市町村議会議長会9月定例会及び平成27年度上川町村議会議長研修会、上川町村議会議員研修会
【議員派遣決定】

問 今後の公共施設の在り方について

答 交流プラザにおいては 改修の成果が表れる政策を実施

公共施設について、一部の施設を除いては経年等により整備が必要なものの、管理が行き届いていないと思われる箇所などが見受けられます。

各施設の今後の管理の方向性を含め、次の点について考えをお伺いいたします。

- ① 体育施設の今後の整備・管理の方向性（特にトレセン、球場）について
- ② 森林公園・ログハウスの管理の状況について
- ③ 交流プラザの今後の利活用について

川口町長

1 点目の体育施設の今後の整備・管理の方向性について、の、トレーニングセンターにおける施設の維持管理につきましましては、施設・設備の改修を計画的に実施し、管理・点検を適正に行ってまいります。熱中症対策に関しては、ハード的にはアリーナ壁面に設

置の換気扇により適宜換気を今まで同様行い、また利用者や指導者の方々に注意喚起を促してまいります。

次に、野球場における安全対策についてですが、現状、平成21年度工事から6年を経過し、内野部分の整備が必要と認識しており、次年度以降に野球場整備を実施するよう検討してまいります。

また、付帯施設につきましても経年劣化が著しい箇所もあり、改修内容を検討し、計画的に改修してまいります。

2 点目の森林公園・ログハウスの管理の状況については、築33年を経過し、柱等の補強工事などを行い現在に至っております。建物については毎年、目視による点検を複数回行っておりますが、経年による木材の劣化が進んでおり、安全面からも今後の維持について検討が必要と認識しております。



今野大樹 議員

利用者につきましては、長期滞在の方がいらつしやいます。トラブルは聞かれず、ごみの問題についても適切な分別やナポートパークへの受け入れ対応など、短期の利用者に対する指導的役割を担い、町民の利用時には場所を開けるなどのマナーも守つていただいております。

3 点目の交流プラザの今後の利活用について申し上げます。現在までの利用日数と利用状況であります。営業的使用が11件で延べ11日間、公益的使用が28件で延べ46日。利用内容につきましては、町内団体による特産品PR及び販売、各種会議、サークル活動、町内外の公的機関の会議、町外事業者による営業といった状況となっております。前年度2月には鉄道写真展を開催しました。

今後の施設の利活用の方向性ですが、設置目的に掲げた

「町に縁のある人々の心の故郷となるよう駅舎の保存、町の情報発信、地域住民間、あるいは町外者との交流の場」となるよう、積極的な利活用について検討してまいります。

再質問

トレセンについては直接的に換気をする、網戸等の対応はできないか。

また球場の整備についての具体的な計画は？

高橋教育次長

トレセンについては次年度以降、ギャラリーの窓に網戸を設置することを検討したい。球場は頻繁に使用する箇所は通常の修繕等でも対応し、それ以外については財政的なことも検討しながら進めたいので理解願いたい。

再質問

森林公園のゴミの件は、地域からの苦情の声もあるので注意喚起含め見回りをしてほしい。

先日5区住民懇談会でもこのことで話が合ったようだがその詳細は。

高橋産業振興課長

ゴミについては、そういった声があったためナポートパークで受け入れという形をとった。改めて周知徹底したい。

懇談会の件は、質問と同じような内容であったが、観光や町のPRという面で施設利用は口コミ等で広がっている部分もあるので様々な面を勘案し、対応したい。

再質問

交流プラザについて、観光協会が使用したいという話があったと聞いたが、その経過と、今後の具体的な利活用について。

川口町長

基本的には駅舎の保存を目的として事業を実施した。観光協会の事務所使用の話があったが、交流プラザの役割がどう広がっていくかというのが大切であつて、協議の中でそこまでの結論に達しなかった。現在、町外の若者から利用についての提案があつた。改修の成果が表れるような政策を行いたい。

問 現況の行政体質の問題と 職員の意識改革について

答 職員個々の資質向上は 最も重要な課題



小川鉄吉 議員

中川町を取り巻く情勢は、マチの存亡にかかる厳しい状況であり、今行政に求められているのは「住民と一体となったマチづくり」が問われている時ではないでしょうか。

「行政は住民本位の行政」でなくてはなりません、本町の実態は、マチづくりの基本が昨今の行政実態からすると大きくかい離していると言わざるを得ません。

こうした観点から次の点についてお伺い致します。

1 住民の立場にたった行政とは何か

2 行政組織の現状の検証と問題点・課題の明確化について

3 行政組織の抜本改革と職員の意識改革にむけた実効性のある取り組みについて

川口町長

1 点目の「住民の立場に立

った行政とは何か」とのご質問であります、行政の本質的役割は住民福祉の増進を図ることであり、住民の皆様と地域課題を共有し、スピード感をもって計画的に社会資本を整備し、教育や医療保健などの施策を通じて住民の暮らしを根底で支える積極的な展開が求められていると考えております。

しかし、これまでのマチづくりは行政があらゆるサービスを担い、住民はそれを利用する一方向的関係でしたが、町民ニーズの多様化と財政の厳しさが相まって、行政依存の仕組みだけでマチづくりを進めることは困難な時代を迎えております。

そこで、身の回りの課題は個人や家庭が解決をし、個人や家庭で解決できない問題は地域が、さらに困難な問題は行政が解決をするという「補

完性の原理」に基づくマチづくりが求められ、とくに町内会自治会の役割は重要で、住民活動団体、さらにはNPOや事業所などの町民が主役となつて知恵と力を結集したマチづくりに大きな期待が高まっております。先の定例議会において小川議員からご提案いただいた「住民自治の在り方」をきっかけに、庁舎内においても議論を始めたところであります。

2 点目の「行政組織の検証と課題の明確化」と3 点目の「行政組織の抜本改革と職員の意識改革」についてのご質問は、官民協働のマチづくりと行政職員の役割の視点から合わせてお答えいたします。

本町においても行政と住民の協働のマチづくりの推進が求められ、中川町においては住民参加の基本的事項を定めた「中川町まちづくり参加条

例」が施行され、町民説明会など様々な角度から取り組みを進めて参りました。

今まさに、行政・議会・住民が課題を共有した議論の中で政策の決定と実施に向け、住民が主役の仕組みが生まれようとしております。

しかし、何よりも大切なことは、議員ご指摘の行政組織における首長を中心とした職員の組織力であり、職員個々の資質向上は最も重要な課題であります。

特に、日々の暮らしの中で個々の役場職員が地域の一員として、積極的に地域活動に関わり、地域と行政のパイプ役となる事は地域の活性化に向けた不可欠な要因であります。

協働のマチづくりを進める上で職員一人ひとりが住民と強い信頼関係を築き、仕事の枠を超えた積極的なコミュニケーション能力を発揮する為の意識改革が、極めて重要な要素であります。

また、行政改革につきましましては、今日まで多くの自治体が組織の効率化と経費の削減

をめざし厳しい行政改革に取り組んで参りました。

しかし、一方では都市と地方の歪を増幅し、とくに「聖域なき構造改革」の名の下で進められた三位一体改革は行政改革そのものが目的化し、効率性の低い住民の暮らしが切り捨てられ、地方経済の疲弊を招いて来ております。

行政改革は終わりのない永遠のテーマであります。

単なる数字の削減ではなく、住民目線に沿った真の行政改革が求められており、今後、新たな住民と行政の協働によるマチづくり議論の中で力強い展開が生まれてくるものと期待をしているところであり、ご理解とご協力をお願いいたします。



問 エコミュージアム構想の推進と 地域振興について

答 勇気をもって取り組んでいきます

国は、地方創生の新しい政

策テーマのなかで地域自らが計画する独自の振興策を求めています。地域振興の基本は地域が有している地域資源の活用にあります。本町地内には白亜紀の地層や豊富な化石が発見され、地域性にとんだ資源として、これらの活用は今後の地域振興の柱になると思われま

す。こうした視点から、次のとおり質問いたします。

- 1 地方版総合戦略事業の進捗状況について
- 2 エコミュージアムセンター事業の現状について
- 3 同センター事業の今後の展開について
- 4 同センター推進体制の充足について

川口町長

1 点目の地方版総合戦略事業は、国が掲げた基本目標を踏まえながら地域が総合戦略を策定し、実施することが地

域の責務とされています。

町ではこれを受け、幹部職員による中川地方創生推進本部と地域の代表者による中川地方創生推進会議を設置し検討を進めています。2 点目については、入館者数はほぼ横ばいですが、地層観察や化石の学習に関する宿泊・日帰り研修は増加傾向にあります。

3 点目については、地域掘り起こし事業と共に地域の魅力の新・再発見を行いながら、情報発信を進めてまいります。4 点目については、化石会会員をはじめとする地域の方々に支援を仰ぎながら取り組んでまいります。

再質問

本町で発掘される化石や白亜紀の地層は、道内外を含めて希少な地域資源であり、これを地域振興に活用するため、次のことを提案します。

- 1 国内外の研究者・学者をエコセンターの特別（特任）



斉藤俊幸 議員

学芸員として委嘱してはどうか

- 2 道内における化石産地町村とのネットワーク化による広域事業の展開について
- 3 なかがわ「道の駅」の有効活用について

川口町長

1 については斬新な提案であり実現に向け検討する。2 については可能性を探っていききたい。

- 3 については道の駅、温泉、JRを中心に積極的に取り組んでいきたい。

再質問

アベシナイ地区は総合戦略事業を進める中心的なフィールドとして環境整備、インフラ整備などを進める必要があると思うが、いかがか。

川口町長

十分検討を行いたい。

問 地域福祉の充実について

答 一層の福祉充実に取り組みます

町民が安心して暮らせるような地域福祉の実現は行政の責務であり、完結することのない永遠のテーマとして更なる充実を図っていかねければなりません。こうした観点から次のことを質問いたします。

- 1 制度改正に伴う要支援サービスの実施時期・実施内容等について
- 2 本町におけるボランティア活動の実態と活動への支援について
- 3 社会福祉協議会の活動実態と今後の有り方について
- 4 グループホームと特別養護老人ホームの入居者の現状と見通しについて

川口町長

1 点目の制度改正に伴う実施時期は平成29年度から移行する予定であり、2 点目については、現在60～70歳代が中心となっています。3 点目と4 点目については、社会福祉協議会は本町の全ての介

護サービスを実施しております。

再質問

ボランティア活動について、現在は60～70歳代の方々が中心になっているとのことですが、ボランティアの人材確保として、

- 1 ボランティア活動の有償化を図ることができないか。金額の多寡ではなく、見える形で感謝の姿勢を表すことが必要と思われま

す。3 点目と4 点目については、町と社協は運命共同体の関係にありますので、意思の疎通を深め一層の活動充実を図っていただきたい。

川口町長

ボランティアの有償化については、関係団体との協議を基に積極的に進めていきたい。

問 町政事務・事業評価の 在り方について

答 外部評価の視点を 取り入れてまいります

統一選挙後、27年度予算の

編成が6月定例会に提案可決され、町広報によればかなりの事業が発注されていますが、所期の目的が達成されることを期待しております。そこで次の大きな括りで町長が掲げている前期から今年度事業の執行につてどの様な評価と今後の展開を目指して居られるかをお伺いします。

川口町長

＊経済振興対策について

農業政策として第7次農業振興計画で掲げている5つの基本計画に基づいて取り組んでいます。

①経営・技術指導体制

②農地基盤整備

③農産物の安定集出荷体制支援

援

④後継者担い手対策

⑤農業用施設整備

と取り組んでおり、今後の事業展開について本町の実体に合わせて、関係機関との協議の中で検討をしてみたい。

林業政策については「中川町森林整備計画」に基づいて

森林整備に取り組んでおります。林地内路網整備や森林ICTプラットフォーム事業の

採択、山村活性化交付金事業による振興策に取り組んでお

ります。

＊社会資本投資事業について

地域情報サービスの多様化と高度化。消防無線のデジタル化等安心で快適な暮らしの

実現を進めてまいりました。

これら今後第6次中川町総

合計画に基づいた「中川町総合戦略」において施策を重点化、体系化して住民の皆様の満足度を高めていきます。

財源確保について、投資的

事業については、補助事業の展開を基本とし、高率補助の確保、収納対策の強化や基金の適切管理など財政規律に配慮した予算編成、提案をしてまいります。

町長への手紙については、現在まで50通あまりのご意見を頂き、施策及び事務事業の参考としております。また住民説明会については、町内10か所で開催し、毎年100人ほどの参加を頂き事業内容について様々な角度から検討、議論し予算編成に繋げております。最後に本町の町民による行政評価につきましては、総合戦略の第1歩として進め、外部評価の視点を取り入れてまいります。



坂尻栄治 議員

商工業振興策については、商工会が実施した事業助成、設備投資や担い手対策支援、振興施策についての関係機関との議論を深めてまいりたい。

＊医療福祉事業について

第5期中川町介護保険事業計画に基づいた在宅福祉サービスの充実。高齢者の日常生活の利便性の向上による暮らし易さを求めている施策。

子育て支援策として、各負担軽減・支援策による安心して生み、育てていける環境整備を図ってまいりました。

保健・医療面としては各年代に合わせた各種検診、保健指導など積極的に進めてまいりました。

＊社会資本投資事業について

地域情報サービスの多様化と高度化。消防無線のデジタル化等安心で快適な暮らしの実現を進めてまいりました。

これら今後第6次中川町総

合計画に基づいた「中川町総合戦略」において施策を重点化、体系化して住民の皆様の満足度を高めていきます。

財源確保について、投資的

事業については、補助事業の展開を基本とし、高率補助の確保、収納対策の強化や基金の適切管理など財政規律に配慮した予算編成、提案をしてまいります。

町長への手紙については、現在まで50通あまりのご意見を頂き、施策及び事務事業の参考としております。また住民説明会については、町内10か所で開催し、毎年100人ほどの参加を頂き事業内容について様々な角度から検討、議論し予算編成に繋げております。最後に本町の町民による行政評価につきましては、総合戦略の第1歩として進め、外部評価の視点を取り入れてまいります。

＊農業振興センターの今後は（自給飼料センターの民営化は）

再質問

＊幼児センターのその後の考えは

川口町長

重要課題であり、何とか考

えてゆきたい。

再質問

＊幼児センターのその後の考えは

川口町長

重要課題であり、何とか考

えてゆきたい。

再質問

＊幼児センターのその後の考えは



自給飼料センター

川口町長

不可欠であり、出来るだけ早く政策として取り組みたい。

問 今後の経済と主要産業の 安定的見通しについて

答 地域発展は産業振興から

今日の経済現況として、全体的な低迷と特に地方は厳しさが実感としてあると思いますが、本町にとって今後の経済見通しについてどの様な考えをお持ちかお伺い致します。特に私は、主要産業が安定した経営を構築していく上で、中・長期の事業の見通しと、今後の将来展望について明確なお答えを求めたいと思います。住民が安心して暮らせる町を形成する責務があると思います。そこで次の2点について具体的にお伺いを致します。

1 現在の経済動向と今後の対策は？

2 主要産業事業の見通しについて産業別にお答えを求めます。

川口町長

1 点目ではありますが、「第6次中川町総合計画」を基盤とする「第7次農業振興計画」や「中川町森林整備計画」などの個別計画を着実に具現化

することで、基幹産業を振興し、かつ新たな価値を見出した事業構築を図っていく考えであります。また、「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略の策定を目指し、最大の課題であります人口減少問題や雇用の創出について新たな雇用を模索し、地域特性を活かした持続可能な産業経済を目指していく考えであります。

2 点目ではありますが、農業の見通しについては、農家戸数の減少をくい止め、約3,200haの農地を活用・保全していくため「中川町農業振興計画」の推進を図っているところです。特に、新規就農並びに新規農業従事者と移住促進を連動させた誘致に積極的に取り組み、新たな生産方式や地域集落の活気を高め、持続的な農業形態を構築していく考えであります。林業の見通しについては、「中川町森林整備計画」に基づき、整



佐藤 正 議員

備を進めております。また、従来の林業の振興とともに、「なかがわ森林づくりの理念」と「森林文化の再生」を掲げ、森林資源状況を把握し、未利用資源を市場調査・ブランド化により価値を高めることで、新たな雇用と経済の循環が生まれるよう推進をしております。

商・工業の見通しについては、国における経済対策により一定程度は回復傾向にあると言われているとおりですが、本町においては、その効果を感じられず、人口減少による消費の低迷により大変厳しい状況にあります。こうした状況の中、ポイントカードのポイント倍増支援事業やプレミアム商品券発行事業など、中川町商工会と連携した町内消費の喚起を行って参りました。

再質問

今後の農業にとって農業振興センターの役割をどのよう

遠藤副町長

農業振興センターは、農業の畑作、酪農を問わず、その振興の為に、農家の方々と協議しながら、農業振興に係る施策を考えて行く。また、自給飼料センターの将来を見据えた事業展開も含めて、農業振興センターがその中核をなしているということでございます。

再質問

バイパス事業の後、次の事業の計画が何かあるのでしょうか。具体的にお答え下さい。

遠藤副町長

音威子府バイパス事業により、地域において大きな経済効果があることは、私共も十分承知しております。現在この点と、関係機関と協議し、更には国土交通省にもお願いをしております。

再質問

工業部門で従事している人たちの将来的な展望が何かありますか。

川口町長

中川町という町は建設業に携わる経済というものがきわめて多い中で地域の様々な活力というものが生まれてきた

と、十分承知しておりますが、建設業の存在価値というものは、農業、林業を中心とした基幹産業をベースとして、この町が成り立っていると思っております。中川町の建設関連予算につきましては、町の規模からすると、かなり大きな数字が毎年提案をされ、承認をいただいております。

再質問

西天との政策会議は3年以上たちます。今西天との政策会議の中で、地域を残すための議論をされていると思いますが、協議されている内容を報告願います。

遠藤副町長

西天北の討議の内容は当然、中川町近隣町村における環境の部分、いわゆるゴミ収集、し尿処理の関係を協議するものでございます。西天北5町の首長が集まる、別名を天塩の国会議といつて、規則に基づく政策会議ではございません。東日本大震災、数年前の天塩の被害があり、今後の有事の際に連携し、共有しながら、協力体制を確立していくとそういった部分をやっております。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の 充実・強化を求める意見書

本道の林業・木材産業は、山村地域を支える基幹産業として発展し、雇用の確保、地域経済の活性化などに大きく寄与してきた。

しかし、山村では、人口の減少と高齢化が急速に進みつつあり、近い将来、集落はもとより、自治体の存続が危ぶまれる事態をも想定されている。

一方、地球温暖化が深刻な環境問題となっている中で、二酸化炭素を吸収・固定する森林・木材に対し大きな関心と期待が寄せられているが、我が国においては、化石燃料への依存が高く、森林や木材が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。

このような中、各自治体において森林の公益的機能の維持推進や森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や森林整備加速化・林業再生対策等の国や道の予算を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害防止、木造公共施設の整備など、さまざまな取り組みを行ってきたところである。

今後、人口林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速させ、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 京都議定書第二約束期間における森林吸収量の国際的な算入上限値3.5%分を最大値確保するため、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源対策を位置づけるなど、森林整備や木材利用のための安定的な財源を確保すること。
- 2 森林の多角的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用安定化を図るため、公共事業である森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 3 川上から川下に至る総合的な対策を地域の実情に合わせて柔軟に展開するため、「森林整備加速化・林業再生対策」を恒久化し、財源を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成27年9月17日

内閣総理大臣 他10名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄



議会を傍聴しませんか

議会活性化のために、多くの町民の
皆さまの傍聴をお待ちしております。

カメラスケッチ なかがわの 鼓動



7月5日 北海道日本ハムファイターズ
ベースボールアカデミー



7月7日 第49回青少年剣道旭川大会 第3位



7月26日 第21回中川町教育長杯
道北小学生バレーボール大会 優勝



柔道スポーツ少年団練習風景



9月10日 敬老会



9月10日 敬老会



9月23日 パンケ山登山

議 会 日 誌

7月

7日 全道町村議会議員研修会及び
中川町議員研修【札幌市】
(8日まで)

9日 広報編集委員会

11日 北口ゆうこう道議と語る青空
の集い【士別市】

12日 天塩川de水切り北海道大会
佐久祭り(16日まで)

14日 第10回議員全員協議会
衆議院議員 今津ひろし20
15政経セミナー【旭川市】

16日 自由民主党北海道第六選挙区
支部 政策懇談会【旭川市】

18日 黒井徹 名寄市議会議長御母
堂通夜【名寄市】

22日 平成27年度各種期成会夏季合
同要望会【東京都】

24日 名寄駐屯地司令、第4高射特
科群長を囲む夕食懇談会【名
寄市】

26日 中川町自衛隊後援会定時総会
農業者ビルパーティー

28日 第11回議員全員協議会

30日

8月

2日 中川まつり(4日まで)
5日 第5回臨時会

第9回議会運営委員会

5日

第12回議員全員協議会
民主党北海道代表 ささき隆
博 ふるさとの集い【旭川市】

9日 名寄駐屯地司令、第4高射特
科群長歓迎会【名寄市】

10日 議会広報研修会【札幌市】
第10回議会運営委員会

19日 第3回経済常任委員会
第3回議員全員協議会

21日 西天北五町衛生施設組合定例
議会【幌延町】

26日 道北地方林活議連連絡会平成
27年度総会【旭川市】

30日 森づくり講演会

9月

4日 第11回議会運営委員会
第4回経済常任委員会

6日 第47回中川町スポーツ少年団
創立記念剣道大会

7日 第4回総務常任委員会
第12回議会運営委員会

8日 中川町敬老会

10日 中川町社協特別養護老人ホー
ム「一心苑」敬老会

16日 第3回定例会(17日まで)
第14回議員全員協議会

第15回議員全員協議会

10月

4日 北海道森づくりフェスタ20
15植樹祭inわっさむ【和寒
町】

20日 上川町村議会議長研修会【比
布町】

19日

2015郷土の森づくりサ
ンルダム植樹会【下川町】

20日 なががわ秋味まつり並びに第
26回北海道丸太押し相撲大会

29日 上川北部市町村議会議長会9
月定例会【幌加内町】



9月20日 なかがわ秋味まつり

編集後記

9月定例会が終了し、新体制2号目の広報発行となりました。定例会では広報委員2名がそれぞれ初めての一般質問を行いました。内容は紙面をご覧いただきたいのですが、改めて事前準備、時間配分として何より言葉のやり取りの難しさを感じました。はたして自分の考えや思いが伝わっているのか、伝わる表現をしたのか、と。

日本語は他の言語に比べ表現も多彩で、同じ言葉でも言い方ひとつでニュアンスが変わる言葉ですが、しかし、言葉を発しなければ伝わらない。そのことを改めて痛感する機会となりました。

また、今回の紙面には中川の子どもたちが頑張っている姿を多く掲載させていただきました。小学生合わせて100人ほどしかおりませんが、その中で努力し、切磋琢磨しています。是非とも子どもたちに温かいご声援と、お褒めの言葉をかけて頂けたらと思います。(大記)

議会広報特別委員会

委員長 齊藤俊幸
委員 今野大樹



道産 間伐材使用 この広報紙は道産間伐材を使用しています。